



湾岸・アラビア半島地域ニュース

バハレーン：内政・政治活動家逮捕に対する抗議

(2月2 - 4日付現地各紙)

1月25日にシーア派の政治活動家3名(ムシャイマア「ハック」代表、同団体のスポークスマンであるアル・サンギース師、宗教学者で政治活動家のミグダード師)が逮捕され、このうちムシャイマア代表とミグダード師の拘留が続いていることから、バハレーン各地でも、衝突が続いており、シーア派団体や政府による緊張緩和のための努力がなされている。

1.2 日付報道

シーア派宗教学者のイーサ・カーシム師は、金曜礼拝の説教で、「政治活動家を釈放し、活動家と政府の対話を始めるべきである」と呼びかけた。「進歩フォーラム・ソサイエティ」も同様の呼びかけを行った。またシーア派政治団体の「アル・ウィファーク」のアル・ダイヒ副代表は、同団体は緊張を緩和し、対話を始めるために最大限の努力を行うと述べた。

2.3 日付報道

- (1)「アル・ウィファーク」と「アル・ミンバル」及び逮捕拘留中のムシャイマア「ハック」代表は、治安の悪化を終わらせ、対話を始め、問題を解決することを呼びかけた。
- (2)ハリーファ首相は、ブアイナイン政治団体「アル・アサーラ」代表とアル・シャイフ「アル・メンバル」代表、ハッサン・アル・ドサリ議員、独立系のシャーシム・サイディー議員、アブドッラ・アル・ドサリ議員と会合を持った。ハリーファ首相は、「自由」を社会の安全を脅かす様な間違った使い方をすることについて警告した。ハリーファ首相は、市民生活の安全と安定を脅かすような「自由」は否定されるべきであると述べた。

3.4 日付報道

検察は、ミグダード師が主宰する「アル・ザハラ孤児院組織」が、25万7千ディナールを社会問題省の許可なしに持ち出したとしているが、テロに対する財政支援の嫌疑がかかっているミグダード師はコメントを拒否している。ミグダード師の弁護士は、国家公安庁が提供した師のテロ団体に加盟しているとする証拠に捜査は集中していると発言した。